

## 令和4年度事業報告

本報告は、定款第39条に基づき監事の監査を受け令和5年度第1回理事会にて承認を得ております。

### 公益社団法人日本栄養・食糧学会

#### 令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）事業報告

##### <概要>

平成23年9月1日の公益社団法人化からの第12期目として、4月1日より令和4年度の各事業をスタートさせた。6月10日に神戸ポートピアホテルで定時社員総会を開催し、令和3年度決算報告書の件につき議決するとともに、次期理事・次期監事の選任を行い、名誉会員・終身会員の推戴を行った。報告事項として令和4年度事業計画の件、同年度収支予算計画の件、令和3年度事業報告等の報告を承認した。また、規約類の改訂、新参与、支部長・各種委員会委員、および第77回大会会頭・第78回大会準備責任者が報告され、承認された。定時社員総会への代議員の出席率は86.6%（97名/112名）となった。

令和3年度事業報告、同年度決算書については令和4年6月29日に、また、令和4年度事業計画、同年度収支予算計画については令和4年3月29日に内閣府に報告した。

栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公1事業）として、次の活動を行った。近畿支部の担当による第76回年次大会を計画し、定時社員総会は6月10日に神戸ポートピアホテルにて開催し、その後、同日・同場所において、各賞授賞式・記念講演、学会創立75周年記念式典・記念講演会が開催され、夕方からは県・市の代表者、主要学会の会長などをお招きし、学会創立75周年記念祝賀会を開催した。6月11日・12日の両日、武庫川女子大学において学術大会を開催した。参加者は、1,835名（正会員801名、非会員651名、学生会員383名）となり、非常に盛況であった。また、プレスリリースするための話題性の高い演題について、トピックス賞を設け、19名に賞状と副賞を授与するとともに、学生の優秀な発表を審査し、学生優秀発表賞として10名の学生に賞状と副賞を授与した。

また、2021年9月に東京で開催することが決まっていた第22回国際栄養学会議が新型コロナウイルス感染症の流行拡大により延期され、2022年12月6日～11日に、東京国際フォーラムで開催された。詳細は別項に記載した。

支部事業については、全支部において、それぞれに相応しいテーマのもとに支部大会およびシンポジウム等を開催した。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業（公2事業）においては、引き続き日本栄養・食糧学会誌を効率的な編集方針のもとに定期的に刊行（第75巻2号～6号、第76巻1号）し、欧文誌JNSV刊行においては、日本ビタミン学会とともに構成しているJNSV編集委員会が中心となって、平成30年2月からペーパーレス化を実施した結果、インパクトファクターも徐々に上がり、現在2.0となっている。令和2年末には、欧文誌JNSVの編集にFANS(Federation of Asian Nutrition Societies)が加わり、国際展開が加速しつつある。

理事会を中心に、公益法人としてのガバナンスの向上、会員サービスの向上に努め、利益相反(COI)については、「栄養・食糧学研究の利益相反に関する指針」並びにその細則の改訂案について、本格運用を実施している。申告者の利便性向上の観点から、更なる制度改良を検討中である。また、年次大会参加者の利便性向上の観点から、講演要旨集のWeb公開を継続実施している。

加えて平成27年度に新設した技術賞の選考を行い、2件の授与を決定し、本学会における産官学連携のさらなる推進を図った。

若手会員の活性化を目指した事業の検討を、学会活動強化委員会を中心に進め、昨年度に引き続き、個人会員2名からの寄付を得て、若手研究助成の対象枠を数名とするとし、金額も30万円から30～50万円にするとともに、学生優秀発表賞を次年度も継続すべく準備を行った。

## I 会員の動き

### 1) 会員の状況（令和5年3月31日現在）

名誉会員	38名
終身会員	175名
正会員	2667名
学生会員	657名
団体会員	57件
賛助会員	67件（78口）
学会誌定期購読団体	96件

### 2) 令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）物故会員（敬称略）

名誉会員：加藤 博道、内藤 博

終身会員：青木 洋祐、小田切 敏、鈴木 裕、高瀬 幸子、高橋 重磨、鳥居 邦夫、林 淳三

### 3) 支部別会員数 令和5年3月31日付

令和5年3月31日付

支部名	名譽会員	終身会員	正会員	学生会員	団体会員	賛助会員 [口数]
北海道支部	0 (± 0)	7 (± 0)	91 (+ 1)	29 (+ 3)	1 (± 0)	11 (± 0)
東北支部	3 (± 0)	11 (± 0)	143 (- 8)	27 (-10)	1 (± 0)	0 (± 0)
関東支部	19 (- 1)	67 (+ 3)	988 (-29)	172 (+ 8)	30 (± 0)	54 (± 0)
中部支部	2 (± 0)	17 (- 1)	335 (± 0)	88 (+ 5)	4 (± 0)	3 (± 0)
近畿支部	5 (± 0)	45 (+ 4)	604 (+ 4)	188 (+42)	9 (± 0)	7 (± 0)
中国・四国支部	2 (± 0)	15 (± 0)	273 (- 7)	101 (+11)	9 (± 0)	2 (± 0)
九州・沖縄支部	7 (+ 1)	13 (+ 1)	229 (± 0)	51 (+14)	3 (± 0)	0 (± 0)
海外	0 (± 0)	0 (± 0)	4 (± 0)	1 (± 0)	0 (± 0)	0 (± 0)
合計	38 (± 0)	175 (+ 7)	2667 (- 39)	657 (+73)	57 (± 0)	67 (± 0)

( ) 内は令和4年3月31日会員数に対する増減を示す。

## II 各種事業活動の推進報告

### <栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公1）>

#### 1) 大会事業

(1) 第76回日本栄養・食糧学会大会の開催（会頭 芦田 均 神戸大学大学院農学研究科 教授）

令和4年6月10日（金）（神戸ポートピアホテル）学会創立75周年記念講演会・受賞者講演

創立75周年記念講演

「学会と共に歩んだ私の研究と国際化」

宮澤 陽夫（東北大学）

「「栄養・食糧学と医学の融合を目指して」—日本人の健康寿命を延長するための長浜からのチャレンジャー—

石田 均（市立長浜病院）

令和4年6月11日（土）、12日（日）（武庫川女子大学）

特別講演・シンポジウム・ランチタイムセミナー・一般演題・学生優秀発表賞審査

一般講演 504題

参加者数 1,835名

特別講演

「食と健康：エビデンスの現状」

津金 昌一郎（医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所）

「新型コロナウイルス」

塩田 達雄（大阪大学）

#### (2) 支部事業

##### ①北海道支部

\*第52回日本栄養・食糧学会北海道支部大会

令和4年10月1日（日）北海道大学大学院農学研究院（Zoomハイブリッド開催）

テーマ：「味覚受容体の知られざる機能を探る」

「脂肪細胞や肝細胞における苦味受容体の機能推定」

加藤 英介（北海道大学院）

「オルガノイド培養による味細胞様細胞の研究」

岩槻 健（東京農業大学）

「味覚関連遺伝子の発現と機能：酸味を中心に」

吉田 竜介（岡山大学）

参加者数 76名

一般講演 9題

\*日本栄養・食糧学会北海道支部シンポジウム2022

令和4年12月17日（土）北海道大学大学院農学研究院（Zoomハイブリッド開催）

テーマ：「生活習慣病予防を目指した栄養代謝学：中枢・末梢組織の機能制御」

世話人：米代 武司（東京大学 先端科学技術研究センター）・田中 愛健（九州大学大学院）

「食品成分による褐色脂肪組織の活性化と肥満予防」

米代 武司（東京大学）

「熱産生脂肪細胞の調節機構の探索と生活習慣病への応用」

小栗 靖生（京都大学大学院）

「生活習慣病予防に役立つ地域食材の探索」

前多 隼人（弘前大学）

「USP2による直接または間接的なエネルギー代謝制御」

藤本 政毅（酪農学園大学）

「新規代謝制御遺伝子 Smek2 の機能解析」

田中 愛健（九州大学大学院）

参加人数 70名

##### ②東北支部

\*第56回日本栄養・食糧学会東北支部大会およびシンポジウム

令和4年10月29日（土）山形大学小白川キャンパス

世話人代表：小関 卓也（山形大学）

市民公開シンポジウム

テーマ：「細胞から健康を考える」

・座長：小酒井 貴晴（山形大学）

・シンポジスト：小林 翔（山形大学）、薩 秀夫（前橋工科大学）、細野 朗（日本大学）

参加者数 40名（内 非会員 11名）

一般講演 9題

##### ③関東支部

\*第109回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム

令和4年11月26日(土) Zoom開催  
世話人: 曾根 博仁(新潟大学大学院)  
テーマ: 「健康寿命延伸を目指す栄養疫学の現在」  
「高血圧・循環器疾患に関する栄養疫学」  
「2型糖尿病の栄養疫学」  
「栄養疫学エビデンスから考える脂質異常症の栄養指導方針」  
「低栄養・フレイルに関する疫学研究」  
「がんに関する栄養疫学」

由田 克士(大阪公立大学大学院)  
堀川 千嘉(新潟県立大学)  
藤岡 由夫(神戸学院大学大学院)  
遠又 靖丈(神奈川県立保健福祉大学大学院)  
高地 リベカ(奈良女子大学)

参加者数 108名(内 非会員 60名)

\*第110回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム

令和5年3月18日(土) Zoom開催  
世話人: 市橋 正光(神戸大学)・福島 洋一(大東文化大学)  
テーマ: 「肌の健康と食品成分」

「肌の健康と食品成分」  
「アスタキサンチンと肌の健康」  
「ポリフェノール摂取と肌の性状」  
「コラーゲンと肌の健康」  
「ヒアルロン酸と肌の健康」  
「乳酸菌と肌の健康」

市橋 正光(神戸大学)  
西田 康宏(富士化学工業株式会社)  
福島 洋一(大東文化大学)  
野村 義宏(東京農工大学)  
木村 守(キューピー株式会社)  
森藤 雅史(株式会社 明治)

参加者数 95名(内 非会員 48名)

\*第25回健康栄養シンポジウム

令和5年2月18日(土) Web開催  
代表世話人: 板倉 弘重(茨城キリスト教大学)  
テーマ: 「緑茶研究最前線 新しい時代に備えた緑茶の活用~The forefront of green tea research Utilization of green tea in preparation for a new era~」

「緑茶飲用と健康: 疫学研究からのエビデンスの現状」  
「緑茶と感染予防」  
「緑茶のメタボ改善効果」  
「緑茶成分の生理作用研究の最前線」  
「緑茶に魅せられて ~日本文化を海外に広める~」  
「ポリフェノールの日制定の意義、そして緑茶研究への期待」

津金昌一郎(医薬基盤・健康・栄養研究所)  
矢野 寿一(奈良県立医科大学)  
日比 壮信(花王株式会社)  
立花 宏文(九州大学大学院)  
ステファン・ダントン(日本茶専門店「おちゃらか」)  
板倉 弘重(茨城キリスト教大学)

参加者数 189名(内 非会員 124名)

④中部支部

\*第80回日本栄養・食糧学会中部支部大会

令和4年9月24日(土) 名古屋外国語大学 名駅キャンパス  
日本栄養・食糧学会受賞講演会

「植物色素成分などの食品因子による肥満・糖尿病予防とその機構に関する食品機能学的研究」 津田 孝範(中部大学)  
「ラクトノナデカペプチドの認知機能に対する作用の研究とその応用」

大澤 一仁(アサヒクオリティードイノベーションズ株式会社)

横越 英彦(静岡県立大学名誉教授)

シンポジウム「学会誌の現状を共有し今後のあり方を考える」

「Journal 出版の現状と課題と Journal of Nutritional Science and Vitaminology」

「日本栄養・食糧学会誌の現状と課題」  
「日本農芸化学会『化学と生物』の現状と課題」  
「日本ビタミン学会『ビタミン』の現状と課題」

佐藤 匡央(九州大学大学院)  
長岡 利(岐阜大学)  
藤原 葉子(お茶の水女子大学基幹研究院)  
吉村 徹(日本ビタミン学会ビタミン誌編集委員会 委員長)

参加者数 47名(内 非会員 10名)

\*第81回日本栄養・食糧学会中部支部大会

令和5年2月4日(土) 名古屋外国語大学 名駅キャンパス(サテライト)  
特別講演「栄養学における基礎研究としての動物実験の在り方」

長尾 静子(藤田医科大学)

シンポジウム「免疫・アレルギーと栄養食糧」  
「食用カンナデンブンの食物アレルギー予防効果と免疫機能への影響」  
「植物や乳酸菌に含有する細胞外小胞の皮膚老化予防に関する研究」  
「鳥類の母子免疫と卵黄抗体の輸送制御」

田中 守(中部大学)  
片山 茂(信州大学学術研究院)  
村井 篤嗣(名古屋大学大学院)

参加者数 70名(内 非会員 34名)

⑤近畿支部

\*第61回日本栄養・食糧学会近畿支部大会

令和4年10月15日(土) 滋賀県立大学  
会頭: 福渡 努(滋賀県立大学)

公開特別講演「マクロとミクロから栄養学へのアプローチ」

「循環器病予防のための栄養疫学の知見と落とし穴」  
「アミノ酸科学・タンパク質化学を支えるアミノ酸分析」

三浦 克之(滋賀医科大学大学院)  
堂前 直(理化学研究所)

参加者数 201名(内 非会員 4名)

一般講演 63題

\*第13回栄養学を志す若手のためのフォーラム

令和4年12月17日(土) Web開催

特別講演「生涯健康支援を通じた生活習慣改善指導について」

小久保 喜弘、鹿島レナ(国立循環器病研究センター)

参加者数 49名(内 非会員 37名)

⑥中国・四国支部

\*第55回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会ならびに市民公開講座

令和4年10月29日(土)～10月30日(日) 松江テルサ

実行委員長: 室田 佳恵子(島根大学)

特別講演

「食品由来フラボノイドの健康機能研究:回顧と展望」

寺尾 純二(徳島大学)

「DHAの脳機能を探る?ご縁に導かれた四半世紀」

橋本 道男(島根大学)

市民公開講座「健康寿命を延ばそう!ロコモ・フレイル予防のための”攻め”の食事」

「いつまでも元気に歩くための牛乳・乳製品のとりかた」

宮崎 亮(島根大学)

「食生活でロコモ・フレイル対策 ～栄養機能食品・機能性表示食品を正しく知ろう～」

山本 憲朗(ハウスウェルネスフーズ株式会社)

「美味しく食べてロコモ・フレイル予防」

名和田 清子 先生(島根県立大学)

参加者数 108名(内 非会員 3名)

一般講演 37題

⑦九州・沖縄支部

\*2022年度日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会

(公社)日本食品科学工学会西日本支部合同開催

令和4年11月29日(土)、30日(日) 鹿児島大学郡元キャンパス

シンポジウム

「食品ファイトケミカル研究の温故知新 :生理活性から生体代謝まで」

支部発表賞講演、一般講演

参加者数 134名(内 非会員 56名)

一般講演 62題

2) 大会事業準備

(1) 第77回日本栄養・食糧学会大会の開催(会頭 園山 慶)

令和5年5月12日(金)

\*定時社員総会

\*授賞式、功労賞受賞者挨拶

令和5年5月13日(土)～14日(日)

\*特別講演

2題

\*教育講演

5題

\*国際シンポジウム

6テーマ

\*医学系学会との合同シンポジウム

3テーマ

\*シンポジウム

17テーマ

\*市民公開シンポジウム

3テーマ

\*関連学会集会

4学会

\*一般演題

(2) 第78回日本栄養・食糧学会大会開催準備

令和6年5月24日(金)～26日(日)

九州支部(会頭 立花 宏文 九州大学大学院)が開催担当支部として準備を進めた。

(3) 第79回日本栄養・食糧学会大会開催準備

令和7年5月23日(金)～25日(日)

中部支部(大会準備責任者 小田 裕昭 名古屋大学大学院)が開催担当支部として決定した。

3) 表彰事業および助成・助成推薦事業

本事業は、各種授賞等選考委員会並びに学会活動強化委員会を通じ展開された。

(1) 第1回各種授賞等選考委員会(6/10)が開催され、事業方針・スケジュールを確認した。

(2) 第2回各種授賞等選考委員会(12/17)がWeb開催され、令和5年度表彰の功労賞3件、学会賞3件、奨励賞3件、技術賞2件、栄養・食糧学基金研究助成対象者2件、栄養・食糧学基金若手助成対象者3件を推薦し理事会に上申した。

(3) 学会活動強化委員会活動としては、

- ①学術企画の支援として学会活動強化費申請（6件）のメール審査を行い、修正後、再提出を求めたうえで全て承認した。
- ②栄養・食糧学基金研究助成・若手研究助成の審査を行い、各種授賞等選考委員会へ報告を行った。
- ③学生優秀発表賞の応募、選考を行った。

(4) 令和4年度表彰授与式開催

①令和4年度受賞者

功労賞	3件	柴田 克己	鈴木 恵美子	山田 耕路
学会賞	3件	青江 誠一郎	亀井 康富	津田 孝範
奨励賞	3件	今井 絵理	北風 智也	米代 武司
技術賞	2件	アサヒクオリティードイノベーションズ株式会社（大澤 一仁、横越 英彦（静岡県立大学） 株式会社ジーンクエスト（高橋 祥子、齋藤 憲司、賈 慧娟*、五十嵐 麻希*（*東京大学大学院））		

②令和4年度栄養・食糧学基金研究助成者

栄養・食糧学基金研究助成	楠堂 達也	砂川 陽一
栄養・食糧学基金若手研究助成	有澤 琴子	佐藤 友紀 堀川 千嘉

③学生優秀発表賞 10件

④トピックス賞 19件

- (5) 令和5年度対象の各賞候補者の公募、栄養・食糧学基金の研究助成・若手研究助成対象者募集記事を学会誌第75巻4号、ホームページ及びメールニュースに掲載した。栄養・食糧学基金 国際交流助成令和4年度後期の募集を学会誌第75巻3号・令和5年度前期の募集を75巻6号、ホームページ及びメールニュースに掲載した。

- (6) 表彰事業の協賛のため2企業・1団体へ依頼し応諾された。

- (7) 下記外部団体からの研究褒賞候補者推薦依頼・研究助成募集の周知を図った。

①研究褒賞候補者推薦依頼

天野エンザイム（株）/酵素応用シンポジウム研究奨励賞（公財）安藤スポーツ・食文化振興財団/安藤百福賞  
 （公財）飯島藤十郎記念食品科学振興財団/飯島藤十郎食品科学賞&飯島藤十郎食品技術賞  
 （公財）上原記念生命科学財団/上原賞  
 ウェルネスライフジャパン実行委員会/第5回ウェルネスフードアワード  
 （株）オルトメディコ/第2回 BEST LIFE AWARD（公財）木原記念横浜生命科学振興財団/学術賞  
 慶應義塾医学振興基金/慶應医学賞（公財）小林財団/小林賞  
 （一財）材料科学技術振興財団/山崎貞一賞（公財）SGH財団/SGH特別賞  
 （公財）杉浦記念財団/杉浦地域医療振興賞 第一生命保険株式会社/保健文化賞  
 （一財）東京顕微鏡院/遠山椿吉記念健康予防医療賞（公財）内藤記念科学振興財団/内藤記念科学振興賞  
 （一社）日本医師会/日本医師会医学賞・医学研究奨励賞 日本医学会総会  
 （独）日本学術振興会/日本学術振興会賞・育志賞  
 （公社）日本看護協会・ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ/ヘルシー・ソサエティ賞  
 （一財）バイオインダストリー協会/大賞・奨励賞 福井県小浜市/杉田玄白賞  
 （公財）三島海雲記念財団/三島海雲学術賞（公財）森永奉仕会/森永奉仕会賞  
 文部科学省/表彰科学技術賞、若手科学賞及び研究支援賞

②研究助成募集の周知

（公財）味の素の文化センター	（公財）飯島藤十郎記念食品科学振興財団
（公財）医療科学研究所	一正蒲鉾株式会社
（公財）上原記念生命科学財団	うま味研究
（公財）エリザベス・アーノルド富士財団	大麦食品推進協議会
カリフォルニアブルー協会	（一財）旗影会
（一財）キャノン財団	公益信託家政学研究助成基金
国立研究開発法人海洋研究開発機構	国立研究開発法人科学技術振興機構
国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）	（公財）サッポロ生物科学振興財団
（一財）サンスター財団	（一社）Jミルク
白石科学振興会	（公財）杉浦記念財団
（公財）住友生命健康財団	（公財）ソルト・サイエンス研究財団
（公財）タカノ農芸化学研究助成財団	（一財）田沼グリーンハウス財団
（公財）ダノン健康栄養財団	築野食品工業株式会社
（公財）長寿科学振興財団	（公財）東洋食品研究所
（公財）内藤記念科学振興財団	（公財）ニッポンハム食の未来財団
（公財）日本科学協会	日本ゴマ科学会
（公財）日本食品化学振興財団	（公財）日本ヘルスケア協会
（独）農畜産業振興機構	フォーデイズ株式会社
（公財）ホクト生物科学振興財団	（公財）本庄八郎記念お茶財団
抹茶と健康研究会	（公財）三島海雲記念財団
（公財）森永奉仕会	やずや 食と健康研究所
（公財）山崎香辛料振興財団	（公財）山田科学振興財団
（公財）ロッテ財団	

(8) 外部団体への推薦

- ①公益財団法人山田科学振興財団  
2022 年度研究援助採択 1 件 奥村文彦「ISG15 修飾により選択的タンパク質翻訳抑制と発熱制御」
- ②公益財団法人山田科学振興財団  
2023 年度研究援助候補者  
各種授賞等選考委員によるメール審査の結果、2 件を学会として推薦

(9) 研究活動の奨励

第 76 回大会時に下記関連学術集会を支援

- ① スポーツ栄養学研究会
- ② 栄養学若手研究者の集い
- ③ コラーゲンペプチド研究会
- ④ 発酵食品研究集会
- ⑤ 第 12 回カルノシン・アンセリン研究会

4) 栄養科学・食糧科学に関する研究・調査事業

本事業は、下記 2 テーマで、健康・食品保健表示の検討は本年度より常置委員会として、栄養・食糧学用語に関する検討は平成 28 年度より常置委員会としてそれぞれの委員会で展開された。

以下各テーマについて主な進捗を報告する。

(1) 健康・食品保健表示の検討

第 76 回日本栄養・食糧学会大会において「栄養表示と食品成分表との関連」に関するシンポジウムを開催し、日本栄養・食糧学会誌 76 巻 1 号に総説として掲載した。22nd ICN のために企画された「栄養表示」に関する国際シンポジウムの開催に協力した。日本人の食品摂取基準(2020 年版)の普及啓発を行った。

(2) 栄養・食糧学用語に関する検討

栄養・食糧学用語辞典(第 2 版)における見出し語ならびに説明文の検証を行い、ホームページへの改訂版掲載に向けて作業を行った。

5) 国際交流事業

(1) 日本学術会議 IUNS の分科会関係

日本学術会議 IUNS 分科会と共催し、第 76 回 日本栄養・食糧学会大会において、韓国食品栄養科学会(KFN)との国際シンポジウムを開催した。

(2) 22nd IUNS-ICN 関係

第 22 回国際栄養学会議を IUNS 本部と打ち合わせつつ準備を進め、2022 年 12 月 6~11 日に開催した。

(3) Federation of Asian Nutrition Societies (FANS)

FANS 事務局への協力を続け、第 22 回国際栄養学会議への協力を仰いだ。

(4) International Union of Food Science and Technology (IUFoST) 関係

IUFoST Japan と連携し、その事業を支援した。

(5) 東京栄養サミット関係

日本栄養学術連合と連携し、東京栄養サミットで策定したコミットメントの実行に努めている。

6) 倫理審査事業

本事業は、倫理審査委員会を通じ展開されている。

2022 年度は、申請が無かった。

現在の「倫理審査委員会に関する規程」は、「その研究がヘルシンキ宣言(1989 年香港総会で修正)の趣旨に沿った倫理的配慮のもとに行われることを目的として」とありますが、我が国のすべてのヒト対象の研究は、厚労省、文科省、経産省合同の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に適合するように行われる必要がありますので、規程の改訂を検討した。

< 栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業(公2) >

1) 出版事業の推進

本事業に関しては、日本栄養・食糧学会誌編集委員会が担当するとともに、JNSV 刊行においては、日本ビタミン学会および FANS との共同編集として発刊した。これらの学術誌の発刊は、(一財)学会誌刊行センターに委託している。

(1) 日本栄養・食糧学会誌 第 75 巻 2 号~6 号、第 76 巻 1 号

① 投稿状況

令和 5 (2023) 年 3 月 31 日現在 投稿数 (カッコは採択数)

受付日	投稿数	総説	報文	研究ノート	資料	速報	論壇	講座
令和3年4月	4(2)		2(1)		1(0) <sup>注1</sup>			1(1) <sup>注2</sup>
令和3年5月	2(2)	1(1) <sup>注3</sup>			1(1) <sup>注4</sup>			
令和3年6月	1(1)	1(1) <sup>注5</sup>						

令和3年7月	2(0)		2(0) <sup>注6</sup>					
令和3年8月	5(4)	3(3) <sup>注7</sup>	2(1)					
令和3年9月	7(5)	4(4) <sup>注8</sup>			3(1)			
令和3年10月	1(0)					1(0) <sup>注9</sup>		
令和3年11月	0							
令和3年12月	3(1)		2(1) <sup>注10</sup>	1(0) <sup>注6'</sup>				
令和4年1月	3(2)		2(1)	1(1)				
令和4年2月	2(0)		1(0)		1(0) <sup>注9'</sup>			
令和4年3月	2(1)		1(0) <sup>注11</sup>		1(1)			
令和4年4月	0							
令和4年5月	0							
令和4年6月	0							
令和4年7月	2(1)	1(1) <sup>注12</sup>	1(0)					
令和4年8月	7(6)	6(6) <sup>注13</sup>		1(0) <sup>注10'</sup>				
令和4年9月	2(2)	1(1) <sup>注14</sup>	1(1)					
令和4年10月	6(5)	5(5) <sup>注15</sup>	1(0)					
令和4年11月	1		1					
令和4年12月	5(4)	4(4) <sup>注16</sup>					1(0)	
令和5年1月	0							
令和5年2月	4(2)	3(2・審査中) <sup>注17</sup>			1			
令和5年3月	3(1)	1(1) <sup>注18</sup>	1	1				

※ 採否が確定していない論文がある月： 令和4年11月、令和5年2・3月

注1 過去に不採択となった資料が大幅修正ののち再投稿されるも再度不採択

注2 食品成分表2020に関する講座2(文部科学省食品成分委員会)

注3 食事摂取基準2020(第73回大会シンポジウム)の総説

注4 過去に種別変更(報文→資料)のうえでの再投稿を促しての不採択、その後再投稿されて採択

注5 令和2年度学会賞

注6,6' 1報は種別変更(報文→研究ノート)のうえでの再投稿を促しての不採択となったものが再投稿されるも再度不採択

注7 令和3年度奨励賞(2報)、技術賞(1報)

注8 令和3年度学会賞(2報)、奨励賞(1報)、技術賞(1報)

注9,9' 種別変更(速報→資料)のうえでの再投稿を促しての不採択、その後再投稿されるも再度不採択

注10,10' 1報は種別変更(報文→研究ノート)のうえでの再投稿を促しての不採択、その後再投稿され審査していたが、著者により取り下げられた

注11 1報は種別変更(報文→資料)のうえでの再投稿を促しての不採択

注12 75-6 特集号「令和4年度各賞受賞」学会賞

注13 75-6 特集号「令和4年度各賞受賞」学会賞(2報)、奨励賞(3報)、技術賞(1報)

注14 75-6 特集号「令和4年度各賞受賞」技術賞

注15 76-1 特集号「76回大会シンポジウム3：栄養表示と日本食品標準成分表2020年版(八訂)との関連について」(4報)、76-3 特集号「食品成分による消化管ホルモン分泌を介した生理作用」(1報)

注16 76-2 特集号「栄養と脳」(4報)

注17 76-3 特集号(2報)、依頼でない総説(1報審査中)

注18 76-4 特集号「ビタミン・ミネラルの代謝的運命を決定する酵素・トランスポーター」

<令和3(2021)年度>

\*投稿論文 22編(依頼総説、講座除く)：採択率 36% (依頼総説、講座、取り下げ除く)

掲載可 8編(平均審査日数102日) 掲載否 14編(平均審査日数50日)

取り下げ 0編 審査中 0編

\*依頼総説 9編(平均審査日数52日) \*講座 1編(審査日数31日)

<令和4(2022)年度>

\*投稿論文 10編(依頼総説除く)：採択率 25% (依頼総説、取り下げ、審査中除く)

掲載可 1編(審査日数71日) 掲載否 3編(平均審査日数31日)

取り下げ 1編 審査中 5編

\*依頼総説 20編(平均審査日数45日)

②発行状況

巻号	総説	報文	研究ノート	資料	速報	論壇	講座	論文計	書評
75-2	3							3	
75-3	1	1						2	
75-4		2						2	
75-5			1	1				2	
75-6	8							8	1
76-1	4	1						5	2
令和4年度計	16	4	1	1	0	0	0	22	3

③刊行状況

巻号	納本日	予定日
75-2	4月10日	4月10日
75-3	6月10日	6月10日
75-4	8月9日	8月10日
75-5	10月11日	10月10日
75-6	12月10日	12月10日
76-1	2月10日	2月10日

④編集委員会を令和4年6月11日、7月6日(ZOOM)、9月8日(ZOOM)に開催した。

(2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV)

①編集状況

日本ビタミン学会およびFANS(Federation of Asian Nutrition Societies)との共同編集 Vol.67No.2~No.6、Vol.68No.1の刊行

JNSV編集委員会報告

2022年3月5日現在

理事会			分野別投稿数						分野別採択数						備考
資料提出日	Vol	年	Total	V	N	F	Review	Note	Total	V	N	F	Review	Note	
3月13日	67	2021	39	5	30	4	2	5	21	8	11	2	1	7	67-2まで
7月17日			148	38	88	22	20	14	35	11	19	5	1	9	67-4まで
10月23日			214	57	125	32	24	24	47	14	27	6	1	9	67-5まで
1月29日			263	65	155	43	30	31	56	19	31	6	3	10	67-6まで
3月19日	68	2022	50	7	33	10	8	3	20	5	11	4	0	6	68-2まで

Total は、V、N、Fの合計。

(各号の内訳)							巻号
Total	V	N	F	Review	Note		
10	4	4	2	1	3	67-1	
11	4	7	0	0	4	67-2	
8	2	3	3	0	0	67-3	
6	1	5	0	0	2	67-4	
12	3	8	1	0	0	67-5	
9	5	4	0	2	1	67-6	
10	4	5	1	0	2	68-1	
10	1	6	3	0	4	68-2	



J.Nutr.Sci.Vitaminol. 原稿状況 (2022年12月31日現在)

Vol.60	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	13	17	13	11	11	9	15	13	11	7	16	10	146
掲載数		No.1 10		No.2 10		No.3 10*		No.4 12		No.5 9		No.6 14	55
*IUNS報告を除く													
Vol.61	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	16	4	16	16	23	19	19	13	14	18	14	12	184
掲載数		No.1 15		No.2 14		No.3 12		No.4 10		No.5 11		No.6 13	75
Vol.62	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	14	22	23	19	19	17	20	11	15	16	26	17	219
掲載数		No.1 11		No.2 10		No.3 8		No.4 10		No.5 14		No.6 9	62
Vol.63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	21	20	16	15	23	14	15	12	11	15	14	16	192
掲載数		No.1 11		No.2 9		No.3 9		No.4 9		No.5 10		No.6 11	59
Vol.64	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	20	19	16	10	20	22	18	16	26	18	14	18	217
掲載数		No.1 11		No.2 10		No.3 11		No.4 11		No.5 11		No.6 12	66
Vol.65	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	17	16	33	22	19	17	24	13	23	17	16	28	245
掲載数		No.1 15		No.2 15		No.3 10		No.4 10		No.5 12		No.6 12	74
Vol.66	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	21	22	19	18	15	28	26	15	24	22	20	18	248
掲載数		No.1 13		No.2 15		No.3 11		No.4 15		No.5 15		No.6 13	82
Vol.67	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	15	25	23	26	24	29	16	8	21	25	16	16	263
掲載数		No.1 10		No.2 11		No.3 8		No.4 6		No.5 12		No.6 9	56
Vol.68	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
投稿数	22	21	22	27	18	18	20	18	20	11	19	13	229
掲載数		No.1 10		No.2 10		No.3 11		No.4 14		No.5 15		No.6 10	70

JNSV投稿内訳および結果

Vol.	Year	Total No.*	V		N		F		R	Note		年間掲載数	頁
			投稿数	掲載数	投稿数	掲載数	投稿数	掲載数		投稿数	掲載数		
55	2009	165	23	10	112	56	30	12	1	28	16	78	538
56	2010	172	29	11	115	44	28	13	1	25	12	68	470
57	2011	167	28	8	104	49	35	8	2	24	10	65	460
58	2012	153	33	11	107	43	13	11	1	28	18	65	466
59	2013	144	27	22	96	51	21	7	4	24	20	80	614
60	2014	146	29	11	90	42	27	13	3	27	11	66	471
61	2015	184	39	14	113	46	32	15	0	29	17	75	543
62	2016	219	33	15	156	38	30	9	2	19	9	62	451
63	2017	192	33	12	123	36	36	11	1	26	6	59	446
64	2018	217	37	15	146	37	34	14	4	29	13	66	501
65	2019	245	44	17	158	51	43	6	5	33	16	74	573
66	2020	248	68	22	148	38	32	22	4	26	15	82	607
67	2021	263	65	19	155	31	43	6	3	31	10	56	442
68	2023	229	50	16	138	38	41	16	3	25	12	70	571

\*V, N, Fの合計。R: Review.

採択数・却下数 (2022.12.31 現在)

論文提出日	2015/1/1-2015/3/30 (旧システム)	2015/3/31-2015/12/31 (新システム)	合計	採択率
採択数	14	31	45	
却下数	16	87	103	
合計			148	30.41%
注)新システムでは採択率＝採択数/採択数＋却下数になります。				
論文提出日	2016/1/1-2016/12/31			
採択数	63			
却下数	120			
合計			183	34.42%
論文提出日	2017/1/1-2017/12/31			
採択数	60			
却下数	117			
合計			177	33.90%
論文提出日	2018/1/1-2018/12/31			
採択数	77			
却下数	106			
合計			183	42.07%
論文提出日	2019/1/1-2019/12/31			
採択数	76			
却下数	135			
合計			211	36.02%
論文提出日	2020/1/1-2020/12/31			
採択数	68			
却下数	164			
合計			232	29.31%
論文提出日	2021/1/1-2021/12/31			
採択数	58			
却下数	171			
合計			229	25.33%
論文提出日	2022/1/1-2022/12/31			
採択数	68			
却下数	138			
合計			206	33.00%

②特定分野の編集委員の負担が大きくなっているため、委員の増員を引き続き検討中。

③実際の採択率は25.3～33.0%である。採択までにかかる期間が長すぎることもなく順調に編集作業が行われている。  
(インパクトファクターは2.032)

④編集委員の交代(3名)

## 2) 広報事業

本事業は、広報委員会を通じ展開された。

### (1) 会員向け情報の告知

学会内の動き、関連学術団体、関連機関(大学・官庁等)からの情報、依頼記事(募集・告知等)について、広報推進を行った。

①ホームページ管理業務委託業者を通じ、定期的及び緊急的に情報を掲載

② 会員向けメールマガジン「栄食ニュース」は1回/月のペースで発信

ホームページへの掲載の紹介及びタイムリーな記事掲載を行い、以下23号発信

2022-4(通算259号 4/11)、2022-5(通算260号 5/10)、2022-6(通算261号 6/13)、2022-7(通算262号 7/11)、  
2022-8(通算263号 8/10)、2022-8臨時号(通算264号 8/29)、2022-8臨時号(通算265号 8/30)、2022-9(通算  
266号 9/12)、2022-9臨時号(通算267号 10/11)、2022-10(通算268号 10/11)、2022-10臨時号(通算269号  
10/14)、2022-11臨時号(通算270号 10/27)、2022-11臨時号(通算271号 11/2)、2022-11(通算272号 11/10)、  
2022-11臨時号(通算273号 11/10)、2022-11臨時号(通算274号 11/17)、2022-11臨時号(通算275号 11/30)、  
2022-11臨時号(通算276号 12/7)、2022-12(通算277号 12/12)、2022-12臨時号(通算278号 12/22)、2023-1(通  
算279号 1/10)、2023-2(通算280号 2/10)、2023-3(通算281号 3/10)

③ 国内学術団体からの事業関連の連絡・通知

\*日本学術会議

日本学術会議発行メールニュース(No.793～No.836)の周知の実施

\*日本医学会

シンポジウム等の開催周知協力の実施

④ 第76回大会記者会見(5/18、学士会館)

⑤ 第22回国際栄養学会議に関する記者発表会(11/21、東京国際フォーラム)

## III 管理業務報告

(1) 内閣府からの通知・連絡対応

- ①内閣府より
- \*公益法人メールマガジン（第141号～第164号）受理
  - \*公益法人 Information から様式チェック結果通知(提出可) (6/8)
  - \*公益法人 Information から様式チェック結果通知(修正要) (6/9)
  - \*公益法人 Information から様式チェック結果通知(提出可) (6/28)
  - \*公益法人 Information から様式チェック結果通知(修正要) (6/28)
  - \*公益法人 Information から提出完了通知 (6/29)
  - \*メール通知「事業計画書等の提出完了」(整理番号)の案内 (3/31)
- ②内閣府へ
- \*「国と特に密接な関係がある公益法人への該当性の有無」をHPに掲載 (4/1)
  - \*2021年度事業報告 (6/21 オンライン提出)
  - \*変更承認届 (7月提出)
  - \*寄付金優遇税制申請
  - \*令和5年度事業計画書等をオンライン提出 (3/31)
  - \*アンケート対応
- (2) 文部科学省
- \*令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について (6/17HP掲載)
- (3) 厚生労働省
- \*医薬品・医療機器安全性情報報告制度の周知
  - \*医薬品・医療機器安全性情報 No. 391～No. 398 の周知依頼
- (4) 農林水産省
- (5) 日本学術会議
- ① 日本学術会議発行メールニュース (No. 793～No. 836) の周知
  - ② 日本学術会議の活動と運営に関するご連絡
  - ③ 日本学術会議第184回総会及び記者会見に関するご報告 (4/21)
  - ④ 日本学術会議 学術フォーラム「コロナ禍と共に生きる#7 新型コロナウイルス感染症のレジストリ研究の現状と今後の方向性 医療情報の収集と活用による対策について」
  - ⑤ 日本学術会議からのご協力依頼 若手研究者をとりまく評価に関する意識調査 (Web アンケート)
  - ⑥ 日本学術会議・お知らせ「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募開始について
  - ⑦ 日本学術会議の活動と運営に関するご連絡
  - ⑧ 日本学術会議幹事会声明「有期雇用研究者・大学教員等のいわゆる「雇止め」問題の解決を目指して」
  - ⑨ 日本学術会議会長メッセージ及び論点整理 (改訂版) について (研究インテグリティ)
  - ⑩ 本学術会議の補欠の会員の任命について (御報告)
  - ⑪ 日本学術会議の活動と運営に関するご連絡
  - ⑫ 日本学術会議会長談話「日本学術会議法改正に関わる今般の報道について」
  - ⑬ 「日本学術会議の在り方についての方針」の公表について
  - ⑭ 第186回総会 (12/8 開催分) Youtube URL につきまして
  - ⑮ 【事前連絡】協力学術研究団体への実態調査について
  - ⑯ 【依頼】日本学術会議協力学術研究団体への実態調査について
  - ⑰ 日本学術会議「声明 内閣府「日本学術会議の在り方についての方針」(令和4年12月6日)について再考を求めます」について
  - ⑱ 日本学術会議「2月16日臨時幹事会 YouTube アドレスの御案内 (日本学術会議の在り方の見直しについて)」
  - ⑲ 日本学術会議「2月22日幹事会及び記者会見のご報告」
  - ⑳ [日本学術会議] 日本学術会議法改正法案に関するご報告
  - ㉑ [日本学術会議] 3月23日幹事会及び記者会見のご報告
- (6) 日本医学会・日本医学連合
- ① [ibunka-m1]の周知
  - ② [all-member]の周知
  - ③ 日本医学会に関するアンケートの回答
  - ④ 2022年日本医学会分科会一覧記事送付
  - ⑤ 日本医学会連合2022年度定時社員総会
  - ⑥ 第90回日本医学会定例評議員会出席
- (7) 関連団体との共催、協賛、後援の許可
- ・日本食品機械研究会「第20回高付加価値食品開発のためのフォーラム」
  - ・タマゴ科学研究会「第8回日本タマゴシンポジウム」
  - ・第16回トランスポーター研究会年会
  - ・食品ハイドロコロイドセミナー2022と第33回食品ハイドロコロイドシンポジウム

- ・第16回トランスポーター研究会年会
- ・「食品ハイドロコロイドセミナー2022」、「第33回食品ハイドロコロイドシンポジウム」
- ・第27回静岡健康・長寿学術フォーラム
- ・ILSI Japan シンポジウム
- ・株式会社食品科学新聞社 Ifia JAPAN 2023-第27回国際食品素材/添加物展・会議 HFE JAPAN 2023-第20回ヘルスフードエキスポ
- ・世界摂食障害アクションディ 2023

(8) 利益相反 (COI) 関連

会員の COI 状態の報告・開示について管理した。

#### IV 総会、理事会等の開催状況

(1) 定時社員総会

令和4年 6月 10日 (土) 9:00 ~ 9:50

(2) 臨時社員総会

第1回 令和4年 11月 29日 (火) 14:00 ~ 14:31 Web 会議

(3) 理事会

第1回 令和4年 5月 7日 (土) 13:30 ~ 15:33 Web 会議

第2回 令和4年 6月 9日 (土) 15:00 ~ 16:45

第3回 令和4年 7月 16日 (土) 9:30 ~ 13:12 Web 会議

第4回 令和4年 10月 22日 (土) 9:32 ~ 12:00 Web 会議

第5回 令和5年 1月 21日 (土) 13:30 ~ 16:00 Web 会議

第6回 令和4年 3月 25日 (土) 13:27 ~ 17:05 Web 会議

(4) 臨時理事会

第1回 令和4年 6月 10日 (金) 9:55 ~ 10:07 Web 会議

第2回 令和4年 11月 4日 (金) 19:00 ~ 20:12 Web 会議

(5) 業務執行理事打合せ

第1回 令和4年 7月 9日 (土) 9:58 ~ 12:10 Web 会議

第2回 令和4年 10月 16日 (日) 9:30 ~ 12:25 Web 会議

第3回 令和5年 1月 14日 (土) 13:30 ~ 16:00 Web 会議

第4回 令和5年 3月 11日 (土) 14:30 ~ 16:49 Web 会議

(6) 名誉会員・顧問懇談会

令和4年 4月 中止

(7) 名誉会員・終身会員推薦委員会

令和5年 1月 14日 (土) Web 会議